

## 「恵楓園で学び伝えたいこと」

菊鹿中学校生徒会執行部は先日、合志市の菊池恵楓園を訪問しました。まず園内を見学させていただきました。園内はたくさんの緑があり、カトリックやプロテスタントの教会もありました。

私は、過ごしやすそうだと少し思ってしまいました。でも、ふと園の周囲を見ると、そこにはコンクリートの壁がありました。「この壁が、入所者の方々から希望を奪っていたんだ」と思うと、心が締め付けられました。

見学が終わった後、私たちは入所者の志村さんの講話を聞きました。ハンセン病は「らい病」とも呼ばれ、「らい」には「汚れ」という意味も含まれていると知り、人権が完全に無視されていると思いました。当時の、ハンセン病患者への態度も想像できます。私は腹が立ちました。

でも、志村さんは講話の最後に優しい顔で、「人間にとって一番確実なことは死。確実なことは考える必要がない。もし考えるとしたら、死ぬ気で生きることです」と言われました。つらい生活を乗り越えて生き抜いたからこそ言える言葉だと思いました。恵楓園で学んだことを、とにかく少しでも多くの人に伝えたいと思います。